

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービスHOORAY

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%		利用人数が多い場合、適切でない時がある
	2	職員の配置数は適切である	40%	60%		送迎の時間帯、室内に残る職員が少なく大変な時もある 利用人数に比べて少ない時がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%	段差が少なく、過 ごしやすいと思わ れる	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	80%	20%	定期的に職員全員 での会議を行っている	出来ている職員と出来ていない職員がいる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		意向を把握し、業 務改善につなげ ている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	20%		いつでも自己評価表を確認できる状況ではある が、ホームページ等で公開しているかどうかは わからない
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%		外部評価は行えていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		日々、伝えている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		作成できていると思うが、ニーズと課題が一 致していない時があり難しい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		たくさんの意見を 取り入れている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		毎月新しい活動 を取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	40%	60%		平日・休日関係なくその日の子どもの様子を見 て、支援に取り組んでいる 細やかな課題の設定は出来ていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	60%	40%	予定表を張り出しており各自が自分の 担当、役割をいつでも確認できるように している アプリを使用していつでも支援内容につ いての相談や情報の共有が出来ている	全員での打ち合わせは出来ていない 今後全員で集まる時間を設け、行っていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	チャットワークを利用し て、気づきを共有してい る アプリを使用して情報の 共有を行っている	全員での打ち合わせは出来ていない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		気づきメモで支援 方法、記録を行っ ている	
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	80%	20%		ガイドラインをすべて理解していない

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービスHOORAY

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	100%			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	100%			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	20%	80%		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	40%	60%		わからない
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	60%	40%		出来ている利用者としていない利用者がある 自分から情報を発信していく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	100%			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%	就業体験を行ったり、課 外活動を取り入れたり することで障がいがない 子どもと接する機会が ある	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	40%	60%		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	80%	20%		日ごろから伝え合っているが、共通理解を持 てているかどうかは分からない 出来ていない利用者もいる ご家族との関係を築いていく
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	80%	20%		必要であれば行うと思うが、現在行っている かはわからない	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	100%			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	60%	40%		出来ていない利用者もいる 信頼関係を築き、なんでも相談できるように 務める
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		100%		今年度は開催できなかった 来年度開催予定
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	80%	20%		すぐに対応できていない時がある 苦情等あった場合、すぐに報告をする 早急に対応する
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	80%	20%	SNSを活用してい る	
35 個人情報に十分注意している	100%				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービスHOORAY

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40%	60%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	20%		保護者に周知は出来ていない 今後SNS等で周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	40%	60%		決定はしているが、計画に記載してあるか不
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	40%		医師の指示書のもとでは、出来ていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	40%		事例集を作成する